SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：（株）野上電設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化するとともに、内容を図案化して従業員との共有を深めている。 ・役員・従業員は自己実現の目標を定めてやりがいを感じている。 ・社会貢献を目標に新たな資格取得や技術習得に挑む文化が社内にある。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の重要性を経営理念に唱えるとともに、規定を就業規則に定めその重要性を全従業員に周知している。 ・コンプライアンスを社内会議のテーマにして従業員の啓発活動を推進している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公正な取引の重要性を発信し、会社取引の透明性を高めている。 ・発注機関の入札見積に関する心得を遵守し行動規範を定めている。 ・取引先に対して公平な条件で接し、不当要求がないように複数監視している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当役員と担当者を任命している。 ・企業活動が及ぼすプラスとマイナスの影響を、社会・環境の両面で把握している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産（特許・商標・著作権など）の侵害を防止するため、社内研修会のテーマとして取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・業務で取り扱う関係書類の内容を精査して、個人情報の範囲を明確にして保護に努めている。 ・会社ホームページなどに個人情報保護方針を明記している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・顧客利益を優先して業務に取り組むとともに、対話方式によるコミュニケーションを大切にしている。 ・発注者や取引先、所属団体などのステークホルダーと連携した業務に取り組んでいる。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者を専任して、管理業務の指導育成に取り組んでいる。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・すべての雇用条件及び職場環境において、差別のない体制・運営を周知徹底している。 ・あらゆるハラスメントの禁止について就業規則に定めている。 ・ハラスメントに関して、役員直接の相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・各種の労働安全講習会に積極的に参加している。 ・業界団体の無事故安全表彰を受賞している。 ・健康経営優良法人の指針に則り、従業員のメンタルヘルスケアを重視している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の正社員・パート社員の雇用形態にかかわらず、公平な待遇を行っている。 ・厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」に沿った体制の整備・運営を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・働き方改革として業務効率化の推進と、残業削減デイの運用を行い労働時間を縮減している。 ・有給休暇取得率アップのために1時間単位の取得を認める運用を行い、社員の積極的な家事育児教育への参加を推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得支援制度を設けて、資格取得に係わるすべての経費を会社で支出している。 ・技能取得の教育訓練を周知して、積極的に参加している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康経営優良法人（経済産業省）の認定を受けている。 ・健康診断、インフル予防接種を会社の経費で行っている。 ・毎日の朝礼で現場でのヒヤリハットの共有を行い、事故防止に努めるとともに、職場教養を高めるために、専門誌の輪読を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・多様な人材が活躍できる環境を目指して、採用・昇進に差別的な待遇は行っていない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・DX推進のために講習会やセミナーに積極的に参加している。 ・ICTの利活用を進めて、脱ペーパーをはじめすべての業務の電子化を推進している。 ・会議アプリを活用したWEB会議とテレワークを導入している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・2019年度ブライト企業の認定を受けている。			3	4				8	9			12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・工事現場で発生する産業廃棄物においては、マニフェストに則り適正に処分している。 ・事務所から排出する一般廃棄物は、許可を受けた処理業者に処分を委託している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルを設置及び照明をすべてLED化することにより、、事業所のエネルギー消費削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、社用車においてハイブリッド車及びエコカーの導入を推進してCO2排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動や社員の行動において、プラスチック製品の使用を最小限にとどめるよう努めている。 ・年2回、会社周辺の水路をボランティアにより整備し、生物の生息環境と環境美化に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・工事で用いる製品や材料は、省資源に配慮した簡易梱包のものを採用している。 ・発生したゴミは可能な限り分別して、再利用、再生利用している。 ・ペーパーレス化を推進し、必要な紙は再生用紙、裏紙を主に使用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所で節水器具を使用するとともに、汚水の適切な処理を実施している。 ・事業所敷地内に非舗装用地を残して、水源涵養に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事業所で使用する製品はグリーン購入を主とし、リサイクル品の使用も進めている。 ・現場での施工方針は省資源施工を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事務所の花壇や周辺を植栽し周辺環境に貢献している。 ・国道の植樹帯を整備清掃している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・事務所屋根に太陽光発電設備を設置して、再生可能エネルギーの利用を促進して節電に取り組んでいる。 ・事務所空調機器を高効率型に更新して省エネルギーに取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・進捗工事の品質管理を複数社員で徹底して行っている。 ・完成工事物の引き渡しには完成図、試験成績表、取扱説明書を電子資料で提供している。 ・工事完成からメンテナンスまでワンストップで行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・設計段階でユニバーサルデザインに取り組んでいる。 ・誰もが使用しやすい電気、機械設備の構築を行い、利用者の声を現場に生かしている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対して地域・学校・NPO活動に積極的な参加を促し、活動に必要な時間は1時間単位での有給休暇取得を認めている。 ・会社行事として年2回以上、水路や通学路の整備清掃をボランティアで行うとともに、公益的な事業には積極的に寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・会社の緊急連絡網を整備し、非常時の連絡訓練や避難訓練を行っている。 ・各事業所に防災グッズと非常食などの備蓄を行っている。 ・社内においてハザードマップの確認と防災対策を整備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・従業員に対して地元消防団への参加を促し、天草市の消防団協力事業所に登録されている。 ・社員全員に救命講習を受講させている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社員研修会においてSDGsの普及啓発活動を行い、事業活動にフィードバックしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・毎年地元工業高校生を4人ほど受け入れ、仕事の価値と楽しさを経験してもらっている。 ・地元工業高校と連携して2年生を対象に出前講座を行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の高校生や若者を採用するため、合同企業説明会などに積極的に参加している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。